

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-230274

(43)Date of publication of application : 16.08.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2001-024477

(71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 31.01.2001

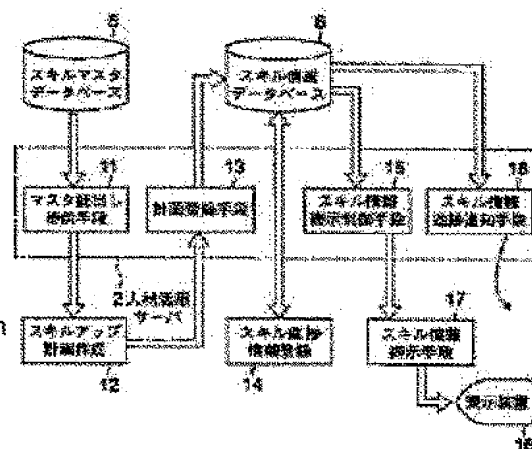
(72)Inventor : NAGAE HIROAKI

## (54) NAVIGATION SYSTEM FOR SKILL-UP

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To attain skill-up and efficient talent management for employees in an enterprise.

**SOLUTION:** In this system, a skill master database 5 is prepared preliminarily in a talent utilization server 2 on the enterprise side, a unified skill-up plan is prepared using a skill master in terminals 3, 4 for the employees including a manager, and is registered to a skill information database 6 in a server side to be controlled. When the each employee or the like acquires a skill or likely, skill information is read out from the talent utilization server side skill information database 6 by own terminal, and skill progress information is registered. The server displays the skill information onto the each individual terminal in every prescribed period or required period to provide information about skill acquirement, and accelerates the skill acquirement for the individual terminal by an electronic mail or the like, when no skill acquirement is found even after a planned date for the skill acquirement is over.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-230274

(P2002-230274A)

(43) 公開日 平成14年8月16日(2002.8.16)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 6 F 17/60

識別記号

1 7 4

1 5 8

F I

G 0 6 F 17/60

テーマコード(参考)

1 7 4

1 5 8

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号

特願2001-24477(P2001-24477)

(22) 出願日

平成13年1月31日(2001.1.31)

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

東京都港区芝浦一丁目1番1号

(72) 発明者 永江 裕明

東京都府中市東芝町1番地 株式会社東芝  
府中事業所内

(74) 代理人 100058479

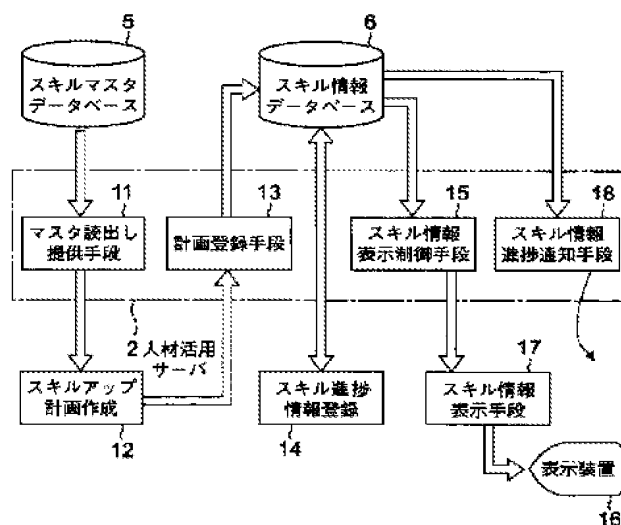
弁理士 鈴江 武彦 (外6名)

(54) 【発明の名称】 スキルアップナビゲーションシステム

(57) 【要約】

【課題】 企業の従業員のスキルアップ及び効率的な人材管理を図ることにある。

【解決手段】 予め企業側の人材活用サーバ2にスキルマスタデータベース5を用意し、管理者を含む各従業員用端末3、4にてスキルマスタを用いて統一的なスキルアップ計画を作成し、サーバ側のスキル情報データベース6に登録し管理する。各従業員等がスキルを取得したときなどに、自身の端末から人材活用サーバ側スキル情報データベース6からスキル情報を読出し、スキル進捗情報を登録する。また、サーバは、所定期間ごとまたは必要な時期に各個人端末宛てにスキル情報を表示し、スキル取得に関する情報を提供し、さらにスキル取得予定日を越えてもスキル取得なしのとき、電子メール等により個人端末にスキル取得を促すシステムである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 企業の管理者を含む従業員等のスキルアップを誘導するスキルアップナビゲーションシステムにおいて、

企業の管理部門に設置される人材活用サーバにネットワークを介して前記従業員等の所持する端末が接続され、前記人材活用サーバは、スキルアップ計画のためのスキルマスタを保存するスキルマスタ保存手段と、前記各端末からの要請に基づいて前記スキルマスタ保存手段からスキルマスタを読み出して該当端末に提供し、スキルアップ計画の作成を促す手段と、該当端末から送られてくる前記スキルマスタから作成されたスキルアップ計画を受信し、スキル情報としてスキル情報保存手段に登録し管理する手段とを備えたことを特徴とするスキルアップナビゲーションシステム。

【請求項2】 請求項1記載のスキルアップナビゲーションシステムにおいて、前記各端末は、前記スキルマスタの提供を要請し、前記スキルアップ管理用サーバから送られてくるスキルマスタに基づいて、スキル名、スキル取得予定日及び取得日の項目を含む前記スキルアップ計画を作成し、前記人材活用サーバに送信するスキルアップ計画作成手段と、前記人材活用サーバで管理される前記スキル情報に対し、スキル進捗情報を登録するスキル進捗情報登録手段とを設けたことを特徴とするスキルアップナビゲーションシステム。

【請求項3】 請求項1記載のスキルアップナビゲーションシステムにおいて、前記人材活用サーバは、所定の期間ごとまたは管理部門の判断のもとに任意の時期にスキル情報を読み出し、所定のフォーマットの表示画面を作成し、各従業員等の端末にビジュアル表示するスキル情報表示制御手段と、前記スキル情報に記述されるスキル取得の進捗状況に応じて各従業員等の端末に対しスキルの速やかな取得を通知するスキル情報進捗通知手段とを設けたことを特徴とするスキルアップナビゲーションシステム。

【請求項4】 人材活用企業に設置される人材活用サーバにネットワークを介して個人端末及び前記企業端末が接続され、前記人材活用サーバは、前記個人用端末及び前記企業別端末から送信されてくるスキル情報を保存するスキル情報保存手段と、前記企業別端末から送信されてくる募集情報を登録する募集情報登録手段と、この登録された募集情報に基づいて前記スキル情報保存手段のスキル情報の中に最適者が存在するか否かを検索する検索手段と、この検索結果から最適者が存在するとき、当該最適者である個人用端末及び該当企業別端末の何れか一方または両方に通知する通知手段とを備えたことを特徴とするスキルアップナビゲーションシステム。

【請求項5】 個人、企業の従業員のスキルアップを誘

導するスキルアップナビゲーションシステムにおいて、前記人材活用サーバは、スキルアップ計画のためのスキルマスタを保存するスキルマスタ保存手段と、前記各端末からの要請に基づいて前記スキルマスタ保存手段からスキルマスタを読み出して該当端末に提供し、スキルアップ計画の作成を促す手段と、該当端末から送られてくる前記スキルマスタから作成されたスキルアップ計画を受信し、スキル情報としてスキル情報保存手段に登録し管理する手段と、前記企業別端末から送信されてくる募集情報を登録する募集情報登録手段と、この登録された募集情報に基づいて前記スキル情報保存手段のスキル情報の中に最適者が存在するか否かを検索する検索手段と、この検索結果から最適者が存在するとき、該当企業別端末に通知する通知手段とを備えたことを特徴とするスキルアップナビゲーションシステム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、従業員等のスキルアップや人材活用に利用するスキルアップナビゲーションシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】近年、各種の企業等では、消費者ニーズの変化や企業の行動範囲のグローバル化等に伴い、従業員のスキルアップを図ることが非常に重要になってきている。

【0003】そこで、従来、企業等が従業員等のスキルアップを計画し管理する場合、現場側にて従業員のスキルアップ計画、その計画のフォローアップについて実施し、その結果を総務部、人事部等の管理部門に報告している。管理部門では、紙ベースで管理したり、人事部等に設置される人事システムに取り込んで管理することが行われている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】従って、以上のようなシステムでは、従業員のスキルに関する管理情報が紙ベースで管理するか、或いは人事システムに取り込んで管理するだけであるので、スキルアップの計画やその進捗状況に関する情報が不足し、各従業員に対して適切、かつ、効率的にフォローアップすることができない状況にある。

【0005】また、自社企業内または各企業間においても、各従業員のスキルアップの計画やその進捗状況に関する情報が不足していることから、一般の個人や従業員を有効に活用できない状況にある。

【0006】本発明は上記事情に鑑みてなされたもので、スキルアップの計画および進捗状況をビジュアル的に表示し、スキルアップ計画の効率的なフォローアップを実現するスキルアップナビゲーションシステムを提供することにある。

【0007】また、本発明の他の目的は、人材の効率的

10

20

30

40

50

な管理及び人材の有効活用を図るスキルアップナビゲーションシステムを提供することにある。

#### 【0008】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、管理者を含む従業員等のスキルアップを誘導する本発明に係わるスキルアップナビゲーションシステムは、企業の管理部門に設置される人材活用サーバにネットワークを介して前記従業員等の所持する端末が接続され、前記人材活用サーバは、スキルアップ計画のためのスキルマスタを保存するスキルマスタ保存手段と、前記各端末からの要請に基づいて前記スキルマスタ保存手段からスキルマスタを読み出して該当端末に提供し、スキルアップ計画の作成を促す手段と、該当端末から送られてくる前記スキルマスタから作成されたスキルアップ計画を受信し、スキル情報としてスキル情報保存手段に登録し管理する手段とを備え、一方、各端末は、前記スキルマスタの提供を要請し、前記スキルアップ管理用サーバから送られてくるスキルマスタに基づいて、スキル名、スキル取得予定日及び取得日の項目を含む前記スキルアップ計画を作成し、前記人材活用サーバに送信するスキルアップ計画作成手段と、前記人材活用サーバで管理される前記スキル情報に対し、スキル進捗情報を登録するスキル進捗情報登録手段とを設けた構成である。

【0009】本発明は以上のような構成とすることにより、予め人材活用サーバ側に統一的なスキルマスタが保存されているので、例えば管理者が自身の端末からスキルマスタの提供を要請すると、人材活用サーバは、スキルマスタを読み出して該当端末に提供する。ここで、管理者は、スキルマスタを用いて、各従業員等ごとのスキル名、スキル取得予定日及び取得日の項目を含むスキルアップ計画を作成し、人材活用サーバに送信し、スキル情報として登録し管理する。

【0010】その後、各従業員等が自身の所有する端末を用いて、スキル情報を読み出し、当該スキル情報に対し、スキル進捗情報を登録する。

【0011】従って、従来のように現場側から管理部門に紙ベースで報告するなどの煩雑な作業がなくなり、多数の従業員に対して統一的にスキルアップの向上を図ることが可能である。

【0012】また、人材活用サーバ側に、スキル情報を読み出し、所定のフォーマットの表示画面を作成し、各従業員等の端末にビジュアルに表示するスキル情報表示制御手段と、スキル情報に記述されるスキル取得の進捗状況に応じて各従業員等の端末に対しスキルの速やかな取得を通知するスキル情報進捗通知手段とを設ければ、各従業員等のスキル取得に関する日付を管理することができ、かつ、スキルの取得に関する履歴をもったスキル情報を各従業員等にビジュアルに表示でき、また速やかなスキルの取得促進の通知を送信可能となる。

#### 【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0014】（第1の実施の形態）図1及び図2は本発明に係わるスキルアップナビゲーションシステムの一実施の形態を示す構成図である。図1はシステムの全体構成図、図2はシステムの構成を示す機能ブロック図である。

【0015】このシステムは、図1に示すように例えばLAN、WAN或いはインターネットなどのネットワーク1上に、人事部、総務部など、いわゆる従業員管理部門に設置されるスキルアップ管理装置、スキルアップナビゲーション、スキルアップ管理用サーバと称する人材活用サーバ2、クライアントとなる従業員のうち、一般従業員が所持する一般従業員用端末3、…および複数人の従業員で構成されるグループごとに管理する管理者が所持する管理者用端末4、…がそれぞれ接続されている。

【0016】人材活用サーバ2は、スキルアップ計画のマスタ情報（以下、スキルマスタと呼ぶ）を保存するスキルマスタデータベース5および各従業員等のスキル情報等を保存するスキル情報データベース6が接続され、また必要な情報を選択的に提供するために社員IDや各個人の参照用パスワードを保持し、一般従業員用端末3、…や管理者用端末4からの要請に基づき、社員IDや各個人の参照用パスワードを参照しつつ必要な情報を選択的に提供する機能をもっている。

【0017】なお、スキルマスタデータベース5、スキル情報データベース6は、それぞれ独立した状態で設けられているが、同一の記憶媒体内をエリア分けし、スキルマスタおよびスキル情報を保存する構成であってもよい。

【0018】次に、スキルアップナビゲーションシステムの機能的構成について図2を参照して説明する。

【0019】このシステムは、予め管理部門等において例えばテンプレートの形式で必要なスキルアップ計画のスキルマスタが登録され保存されているスキルマスタデータベース5及びスキル情報データベース6の他、管理者用端末4からスキルマスタの提供を要請されたとき、スキルマスタデータベース5からスキルマスタを読み出して提供するサーバ側マスタ読出し提供手段11、このサーバ側マスタ読出し提供手段11から提供されるスキルマスタから各一般従業員（社員等）のスキルアップ計画を生成し、人材活用サーバ2に登録を要請する管理者側スキルアップ計画作成手段12、このスキルアップ計画作成手段12によって作成され送信されてくるスキルアップ計画をスキル情報としてスキル情報データベース6に登録するスキルアップ計画登録手段13および一般従業員や管理者が所有する端末3、4から社員IDや各個人の参照用パスワードのもとにスキル情報データベース6に登録されているスキル情報を読み出し、このスキ

ル情報にスキルアップの進捗状況を登録するスキル情報進捗登録手段14が設けられている。

【0020】なお、スキルアップ計画作成手段12は、管理者が管理者用端末4からスキルマスタを読み出してスキル情報であるスキルアップ計画を作成するようにしたが、各従業員がそれぞれスキルアップ計画を作成させるような構成であってもよい。

【0021】また、スキルアップナビゲーションシステムは、所定の期間ごとまたは管理部門の判断のもとに任意の時期にスキル情報データベース6からスキル情報を読み出し、セキュリティを介して各一般従業員宛て、または管理者宛てに所定のフォーマットの表示画面を作成し、一般従業員用端末3または管理者用端末4に送信するサーバ側スキル情報表示制御手段15と、この制御手段15からネットワーク1を介して伝送されてくるスキル情報を受信し、表示装置16に表示する一般従業員用端末3側及び管理者用端末4側に設けられるスキル情報\*

[スキルマスタ]

スキルID	スキルコース名	スキル名	備考
01	幹部コース	経営手法	...
02	幹部コース	人材開発手法	...
03	幹部コース	財務処理	...
04	一般コース	設計手法	...
05	一般コース	製造技術	...

以上のような状態において、例えば管理者は管理者用端末4にてスキルアップ計画作成手段12を実行する。このスキルアップ計画作成手段12は、スキルマスタの提供を要請すると、サーバ側マスタ読出し提供手段11は、人材活用サーバ2側のスキルマスタデータベース5からスキルマスタを読み出し、該当する管理者用端末4に送信する。ここで、スキルアップ計画作成手段12は、管理者の操作のもとにスキルマスタから次に掲げるように各従業員個人に合わせた取得予定日付情報等を付※

[スキル情報]

社員ID	スキルID	スキルコース名	取得予定日	取得日	有効日	登録日
1010	01	幹部コース	20000601	.....	20020601	
1011	01	幹部コース	20000601	.....	20010601	
1012	01	幹部コース	20000601	.....	20030601	
2010	04	一般コース	20000401	.....		
2011	04	一般コース	20000401	.....	20010801	

なお、各個人が有効日付を入力する方法をとってもよい。また、管理者のスキル情報は、人材活用サーバ2または端末4を用いて、管理部門担当者または管理者自身が生成し、スキル情報データベース6に登録する。

【0027】その後、一般従業員、管理者を含む各個人は、自身の所持する端末3、4から社員IDまたは各個人のパスワードを入力し、スキル進捗情報登録手段14を実行する。すなわち、各個人は、端末3、4にて社員IDまたは各個人のパスワードを入力し、自身に関係するスキル情報を呼び出し、有効日付を追加し、またある

\*表示手段17と、スキル取得の進捗状況、例えば現在日付が予定日付を越えているような場合、スキル情報データベース6からスキル情報を読み出し、一般従業員用端末3側及び管理者用端末4側に通知するサーバ側スキル情報進捗通知手段18とが設けられている。

【0022】次に、以上のようなシステムの動作について説明する。

【0023】まず、管理部門側の人材活用サーバ2では、予めスキルアップの計画のために、スキルマスタデータベース5に例えばテンプレートの形式で次のようなスキルマスタを登録し保存する。このスキルマスタは、必ずしもテンプレートである必要がないが、多数の従業員に対して統一的に実施させること、また企業にとって必要なスキルアップだけを実施することから、テンプレートの形式を採用するのが好ましい。

【0024】

※加したスキルアップ計画を作成する。

【0025】管理者用端末4のスキルアップ計画作成手段12は、以上のようにしてスキルアップ計画を作成した後、人材活用サーバ2に送信する。この人材活用サーバ2の計画登録手段13は、送られてくるスキルアップ計画をつぎのようなフォーマットのスキル情報としてスキル情報データベース6に登録する。

【0026】

スキルを取得した場合にはその取得日を追加し、再度人材活用サーバ2を介してスキル情報データベース6にスキル情報として登録する。

【0028】人材活用サーバ2は、定期的または操作者の指示のもとにスキル情報表示制御手段15を実行する。このスキル情報表示制御手段15は、セキュリティの観点から例えばスキル情報データベース6に登録される社員IDのもとに、スキル情報の中から個人単位の情報を取出し、図3に示すように所定のフォーマットの表示画面を作成し、該当する個人の端末3、4、...に

順次送信する。各個人の端末は3、4は、スキル情報表示手段17により個人単位のスキル情報をビジュアル的に表示する。

【0029】なお、人材活用サーバ2は、各従業員のスキル情報を不特定多数の従業員に公開できないが、ある特定の従業員例えば直属の上司や管理者に公開する必要があるので、セキュリティの万全を期す観点から、次のようなセキュリティ情報を設定し、参照可能な従業員のみにスキル情報の公開を可能にする。

【0030】[セキュリティ情報設定例]

社員ID	参照可能社員ID
1011	1010
1012	1010
1013	1010
1014	1010
1015	1010

従って、人材活用サーバ2は、従業員等から社員IDのもとにある従業員のスキル情報の提供要請があったとき、参照可能社員であれば、スキル情報を提供することになる。

【0031】図3において、上段は個人が所有するスキルコース、下段は上段のスキルコースに紐付けされたスキル名等であって、自身のスキルコースをクリックすることにより、スキル名を含むスキル取得状況や予定状況が表示されるようになっている。

【0032】この時、登録されている予定日付、取得日付、有効日付のうち、例えば取得日付が予定日付を越えているなど進捗状況に応じて、取得日時や空欄または予定日付、取得日付、有効日付の何れか1つまたは全部を色分けや強調表示することにより、速やかなスキルの取得を促すようにする。また、現在日付が有効日付を越えているとか、或いはあと10日で越えようとしている場合、同様に有効日付に対して色分け表示や強調表示する。

【0033】また、図3では、上段の図示右端上部に基準日エリア19を形成し、このエリア18内に基準日が入力指定すれば、人材活用サーバ2は、指定基準日とスキル取得日とを比較し、指定基準日前であれば、スキル名、取得予定日を含むスキル取得日などの図3の示すスキル情報を表示することも可能である。これにより、例えば管理者などにおいて、指定基準日の時点でのスキルアップ計画を参照でき、どのような計画のもとに人材が育成されているとか、或いは特定の個人が速やかにスキルアップの目標を達成しているなどについて容易に把握することができる。

【0034】さらに、サーバ側スキル情報進捗通知手段18は、予めサーバ側に各従業員メールアドレスまたは個人用URL、或いはグループウェアアドレスを登録しておき、予め定めるスキル取得予定日前の一定期間経過後、またはスキル取得予定日を越えてもスキル取得日が

登録されていない場合、予め登録されている各従業員メールアドレスまたは個人用URL、或いはグループウェアアドレスに基づいて、自動的にスキル取得を催促するメール等を配信することにより、自動的に速やかなスキルの取得を促すことができる。

【0035】従って、以上のような実施の形態によれば、管理部門側の人材活用サーバ2にスキルマスタを設けることにより、当該スキルマスタを用いて多数の従業員のスキルアップ計画、つまりスキル情報を容易に作成することができる。

【0036】また、各従業員等は、自身の所持する端末3、4から自身のスキル情報を読み出し、該当するエリアにスキル進捗情報を登録するので、従来のように現場側から管理部門に紙ベースで報告する煩雑な作業がなくなり、多数の従業員に対して統一的にスキル情報を登録できる。

【0037】さらに、スキル情報の中にスキルの取得に関する日付を管理することにより、スキルの取得に関する履歴をもったスキル情報をビジュアルに表示でき、また速やかなスキルの取得促進の通知を送信することができる。

【0038】(第2の実施の形態) 図4は本発明に係わるスキルアップナビゲーションシステムの他の実施の形態を示す構成図である。

【0039】この実施の形態は、企業の管理部門の設置に代えて、例えば人材派遣業等の人材活用企業などに人材活用サーバ2を設置し、スキルアップの向上とともに、人材の有効活用を図る例である。

【0040】この人材活用サーバ2は、人材活用企業などに設置されるものであって、図1と同様にスキルマスタデータベース5、スキル情報データベース6の他に、各企業から提供される人材募集情報を登録する人材斡旋情報データベース21が接続されている。この人材斡旋情報データベース21には、会社情報、業務内容、必要とするスキル、採用日その他の採用情報を登録し管理する機能をもっている。

【0041】この人材活用サーバ2は、コンピュータによって構成され、機能的には、図2と同様にマスタ読出し提供手段11、計画登録手段13、スキル情報表示制御手段15及びスキル情報進捗通知手段18が設けられ、さらに新たにネットワーク1に接続される各企業端末31、…から送られてくる人材募集情報を前記人材斡旋情報データベース21に登録する募集情報登録手段22、人材斡旋情報データベース21に登録される企業別募集情報とスキル情報データベース6のスキル情報とを比較し、最適者が存在するか否かを検索する検索手段23と、この検索手段23の検索により最適者を見つけ出したときに該当する個人用端末31及び企業用端末32の何れか一方または両方に通知する最適者通知手段24とが設けられている。

10

20

30

40

50

【0042】この個人用端末31、…は、スキルアップを図りつつ企業から提供される人材募集に応募する者が所有するものであって、図1に示す一般従業員用端末3及び管理者用端末4に相当する機能をもっている。企業用端末32も募集情報を登録する点を除けば、従業員のスキルアップを図りつつ最適な企業に紹介する意味から個人用端末31、…と同様の機能をもつことになる。

【0043】すなわち、個人用端末31、…および企業用端末32は、人材活用サーバ2が管理するスキルマスタからスキルアップ計画を作成しスキル情報データベース6に登録するスキルアップ計画作成手段12、スキル情報を呼び出してスキル進捗情報を登録するスキル進捗情報登録手段14およびスキル情報表示手段17が設けられている。

\*

## [スキルマスタ]

スキルID	スキルコース名	スキル名	備考
01	幹部コース	経営手法	…
02	幹部コース	人材開発手法	…
03	幹部コース	財務処理	…
04	一般コース	設計手法	…
05	一般コース	製造技術	…

以上のような状態において、例えば各個人や企業の人事担当は個人用端末31、企業別端末32にてスキルアップ計画作成手段12を実行する。このスキルアップ計画作成手段12は、スキルマスタの提供を要請すると、サーバ側マスタ読出し提供手段11は、人材活用サーバ2側のスキルマスタデータベース5からスキルマスタを読み出し、該当する個人用端末31、企業別端末32に送信する。ここで、スキルアップ計画作成手段12は、各個人、人事担当者の操作のもとにスキルマスタから次に掲げるように各個人や従業員に合わせた取得予定日付情※

## [スキル情報]

法人ID	社員ID	スキルID	スキルコース名	予定日	取得日	有効日
01	1010	01	幹部コース	20000601	……	20020601
02	1011	01	幹部コース	20000601	……	20010601
03	1012	01	幹部コース	20000601	……	20030601
04	2010	04	一般コース	20000401	……	
05	2011	04	一般コース	20000401	……	20010801

その他、図1、図2と同一部分は、図1～図3と同様であるので、該当部分については省略し、以下、異なる部分について図5を参照して説明する。

【0050】人材活用サーバ2は、コンピュータで構成されている場合、予め定められるプログラムに従って一連の処理を実行することになる。

【0051】すなわち、人材活用サーバ2は、動作開始に伴い、不要なデータを消去するなどの初期化処理を実施した後(S1)、スキル関連情報の要求か(S2)、或いは各企業端末32の募集情報要請手段33による募集情報の要請に基づく登録であるか否かを判断する。

【0052】なお、スキル関連情報の要求には、スキル

【0044】さらに、企業別端末32は、スキルアップ計画作成手段12、スキル進捗情報登録手段14およびスキル情報表示手段17の他に、採用情報要請手段33および人材活用サーバ2の最適者通知手段24から最適者の通知を取得する通知受信手段34が設けられている。

【0045】次に、以上のようなシステムの動作について説明する。

【0046】まず、人材派遣・紹介等の企業側の人材活用サーバ2では、予めスキルアップの計画のために、スキルマスタデータベース5に例えばテンプレートの形式で次のようなスキルマスタを登録し保存する。

【0047】

※報等を付加したスキルアップ計画を作成する。

【0048】このスキルアップ計画作成手段12は、以上のようにしてスキルアップ計画を作成した後、人材活用サーバ2に送信する。この人材活用サーバ2の計画登録手段13は、送られてくるスキルアップ計画をつぎのようなフォーマットのスキル情報としてスキル情報データベース6に登録する。なお、下記のスキル情報は企業別端末32によって作成されたスキルアップ計画ないしスキル情報である。

【0049】

マスタの読出し、スキルアップ計画の登録か、所定期間または任意時期によるスキル情報表示であるか、或いはスキル情報進捗通知かを判断し、それぞれの判断に応じた処理を実行するが、ここでは省略する。

【0053】また、人材活用サーバ2は、不特定多数の企業を扱うことから、ある企業に属する従業員のスキル情報を他の特定の企業端末32に公開することは、必要なスキルをもつ人材が他社の競争企業から引き抜かれたり、トラブルが発生する。よって、万全なセキュリティの確保が必要になってくる。そこで、予め適宜な記憶媒体に次のようなセキュリティ情報を設定し、参照可能な企業のみに入材情報の公開を可能にする。

## 【0054】[セキュリティ情報設定例]

法人ID 参照可能法人ID

1011	1010
1012	1010
1013	1010
1014	1010
1015	1010

従って、人材活用サーバ2は、企業から法人IDのもとにある企業のスキル情報の提供要請があったとき、参照可能法人であれば、スキル情報を提供することになる。

【0055】ところで、ステップS3において、募集情報の登録と判断されたとき、法人IDのもとに人材斡旋情報データベース21の該当企業エリアに募集情報を登録する(S3、S4：募集情報登録手段)。

【0056】この募集情報の登録後、検索手段23を実行する。この検索手段23は、検索するか否かを判断し(S5)、検索しない場合にはステップS2に戻り、検索する場合には、人材斡旋情報データベース21の企業別の募集情報に基づいて、スキル情報データベース6のスキル情報を順次参照し(S6)、最適者有りの場合には図示されていないメモリ或いはデータベース6、21の企業別登録エリアに最適者を登録する(S7、S8)。ここでは、全部の企業について検索し、登録する。

【0057】この企業別最適者登録後、最適者通知手段24を実行する。この最適者通知手段24は、最適者通知か否かを判断し(S9)、予め通知する旨のフラグ等が設定されている場合、通知すると判断し、企業別エリアから最適者の情報を電子メールなどで該当企業別端末32に送信し(S10)、登録された全部の企業別端末32について実施する。なお、最適者とされた個人用端末31に送信してもよい。

【0058】従って、以上のような実施の形態によれば、図1ないし図3の実施の形態と同様の効果を奏する他、各企業別端末32から要請のあった募集情報に基づき、予めスキル情報データベース6に保存される各個人や各企業別従業員のスキル情報の中から最適者を検索し、当該最適者である個人用端末及び該当企業別端末の何れか一方または両方に通知するので、有効な人材活用のための情報を迅速に提供でき、また個人情報及び各企業の人材を有効に活用することができる。

【0059】その他、本願発明は、上記実施の形態に限定されるものでなく、その要旨を逸脱しない範囲で種々変形して実施できる。また、各実施の形態は可能な限り組み合わせて実施することが可能であり、その場合には

組み合わせによる効果が得られる。さらに、上記各実施の形態には種々の上位、下位段階の発明が含まれており、開示された複数の構成要素の適宜な組み合わせにより種々の発明が抽出され得るものである。例えば問題点を解決するための手段に記載される全構成要件から幾つかの構成要件が省略されうることによって発明が抽出された場合には、その抽出された発明を実施する場合には省略部分が周知慣用技術で適宜補われるものである。

## 【0060】

10 【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、スキルアップの計画および進捗状況をビジュアル的に表示でき、また人材の効率的な管理及びスキルアップ計画の効率的なフォローアップを実現できる。

【0061】また、本発明は、有効な人材活用のための情報を迅速に提供でき、また個人情報及び各企業の人材を有効に活用することができる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係わるスキルアップナビゲーションシステムの一実施の形態を示す全体構成図。

20 【図2】 システムの機能ブロック図。

【図3】 各従業員等の所持する端末に表示するスキル情報の表示画面図。

【図4】 本発明に係わるスキルアップナビゲーションシステムの他の実施形態を示す全体構成図。

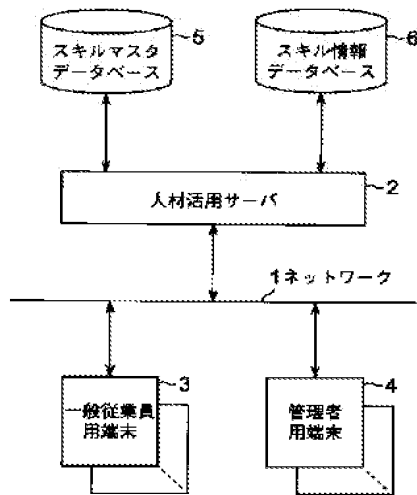
【図5】 各企業の募集内容に合致する最適者人材を検索するための動作を説明するフローチャート。

## 【符号の説明】

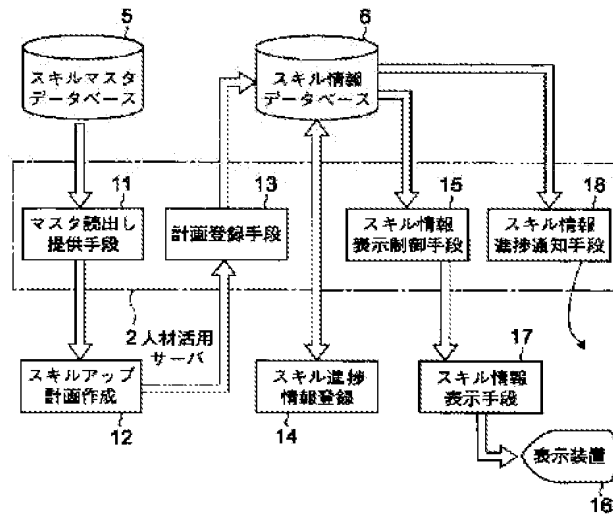
1…ネットワーク  
2…人材活用サーバ  
3…一般従業員用端末  
4…管理者用端末  
5…スキルマスタデータベース  
6…スキル情報データベース  
11…マスタ読出し提供手段  
12…スキルアップ計画作成手段  
13…計画登録手段  
14…スキル進捗情報登録手段  
16…スキル情報表示制御手段  
18…スキル情報進捗通知手段  
21…人材斡旋情報データベース  
22…募集情報登録手段  
23…検索手段  
24…最適者通知手段  
31…個人用端末  
32…企業別端末



【図1】



【図2】



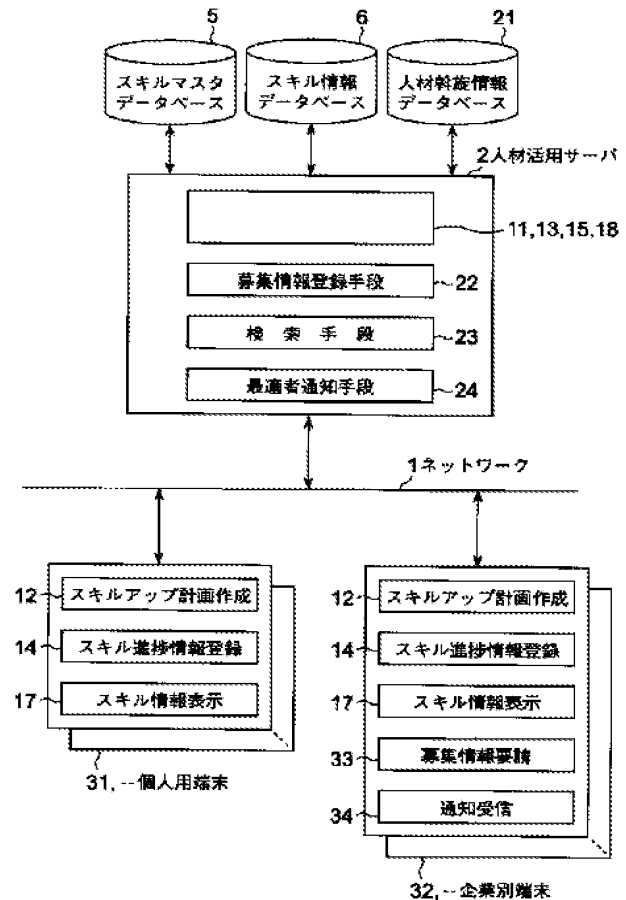
【図3】

スキル情報表示：山田太郎

一般教育    中堅教育    幹部教育    ----

スキル名	取得予定日	取得日	有効日付	----
				----
				----
				----
				----
				----
				----

【図4】



【図5】

